

# 平成26年度香川県ソフトテニス連盟定期総会議事録

平成27年2月21日（土）丸亀市生涯学習センター 14:00～16:30

## ◇◇表彰式◇◇

定期総会議事に入る前に恒例の表彰式を行った。支部功労者表彰（1名）、優良団体表彰（1団体）、日本ソフトテニス連盟会長表彰（3名）、香川県ソフトテニス連盟会長表彰（62名）を行った。

## ◇◇開会◇◇

定刻の14時に開会し、田万会長から総会のスムーズな進行と議案に対して十分な審議のお願い等の挨拶があった。

## ◇◇議事◇◇

事務局より代議員数40名に対し、出席者数30名（代理出席者含む）、委任状提出者5名となっており、連盟規約第25条（成立条件：代議員数の過半数（委任状含む）の出席）により、本会が成立していることを報告した。

恒例により田万会長が議長を務めることで承認をいただき、議長は先ず議事録署名人として、若水クラブ池田行宣氏、フェニックスクラブ千秋登氏の両代議員を指名して議事に入った。

## ◇報告事項①◇

### （1）全国評議員会報告、西日本代議員会報告（安藤理事長・木下理事）

始めに、安藤理事長より全国評議員会(11/30;アーズイン阪急)報告を以下のとおり行った。

- ① 小学生部会により「着ぐるみ」を作成した。今後、全日本小学生大会や都道府県対抗全日本中学生大会で活用する。マスコットキャラクターの名称を募集しており、今月末まで受付している。
- ② 日本連盟創立記念事業「映画：案山子とラケット」、「漫画：グリップ」、「指導教本」の3点セットの購入について協力をお願いしたい。映画は、4月4日からイオンシネマ綾川にて公開される。上映期間は不透明だが、2週間前後と思われ、短い間ではあるが、前売り券の発売は始まっているため、ぜひ見に行っていたきたい。(パンフレット参照)漫画と指導教本は、連盟にて纏めて購入すると割引があるので、直接購入はできるものの、できるだけ県連を通していただきたい。3月20日を締切とするので、申し込みを理事長までメールまたは電話にてお願いしたい。(パンフレット参照)
- ③ 事故発生時の保障制度について、会員登録をしている方は適用となるため、事故発生時には、すぐ日本連盟へ連絡をしていただければ、治療費や通院費の一部は保障できる。(申請フォームは、日本連盟ホームページにある。)
- ④ 競技部会より「アメアスポーツジャパン（ウイルソン）」より、シューズの新規申請があり承認した。今後は、ウイルソンのシューズでの大会参加が可能となる。
- ⑤ ダンロップが、ソフトテニス用品すべての名称を「スリクソン」に統一することとなった。今後は、スリクソンマークの製品を購入いただくこととなるが、現在、ダンロップロゴの入った用品を使用している方もいるので、当面は使用可能である。

- ⑥ 平成27年度大会より日本連盟主催大会において、スルクソンボールを使用することとなった。県連主催の試合についても、スルクソンボールを使用する大会を検討中である。
- ⑦ 審判部会において、小学生低学年用のジュニア審判マニュアルを作成したため、新年度に入って配布予定であるため、もう暫くお待ちいただきたい。
- ⑧ 環境教育部会において、ソフトテニスのマナーが悪いことが問題となっていることから、マナー教本を作成している。指導者や保護者のマナーが悪く、今回、マナー教本を作成するに至った。6月を目途に配布予定だが、本日も出席の皆様も、各クラブ・学校に帰られた時には、マナー向上について協力をお願いしておいていただきたい。
- ⑨ 2020年東京オリンピックへのソフトテニス参加について、現在のところ、オリンピック参加条件を満たせていないことから、日本連盟の考え方の位置づけとしては、参加の可能性は無いとしている。一方、署名活動を行っている団体もあるが、日本連盟が率先して署名活動をするのではないものの、その署名活動を拒むものでない。
- ⑩ ユニフォームの着用基準が変更となっており、以前から県連主催大会では、アンダーウェアの着用は認めていたが、来年度からアンダーウェアは「単色」であることが明記され、スパッツについては、競技委員長が認める試合を除き、ユニフォームから露出しないこととなった。  
※ユニフォームの定義：シャツ、パンツ、シューズについて規定しているものであり、それ以外の帽子やオーバーウェアなどは規定されていない。
- ⑪ 大会要項の改定があり、国民体育大会でシングルス導入および、JOCジュニアオリンピックカップでダブルスが導入される。平成27年度の国体四国ブロック予選での本国体への出場枠は、成年男子：4県、少年男子：2県、成年女子と少年女子は従来どおり1県となる。
- ⑫ テニスコートの施設基準について、現在、硬式テニスと共通化を図る検討を行っている。アウトコートの施設基準で、ソフトテニスの場合は8m以上と定義されているが、硬式テニスは6.4m以上ということで、少し硬式テニスの方が狭いが、硬式テニスの基準に共通化を図る方向性になると思われる。
- ⑬ アンダーカットサービスについて、今後の方向性としては、肩から下のアンダーカットサービスは禁止となる方向性である。ソフトテニスの国際化を図っていく上で、カットサービスを取れる国が極僅かであることから、今後、早ければ来年度から禁止になる可能性もあるため、お知りおきいただきたい。
- ⑭ 新しい全日本大会が検討されており、社会人団体（実業団・クラブ）選手権、団体総合（社会人・大学生・高校生）選手権、混合ダブルス選手権（一般）大会を模索している。
- ⑮ ゼッケンの着用について、日本連盟で定義しているゼッケン（3段）について、今後、高体連主催大会については今年のインターハイから、中体連主催大会については、来年度から完全実施をすることとしている。
- ⑯ 審判について、現在、ほとんどの試合で敗者審判としているが、1・2回戦あたりの審判レベル（精度）が低下しており、勝者審判もしくは審判派遣制度を検討している。
- ⑰ 平成27年度から日本連盟主催大会について、審判時に公認審判ワッペンを左胸に着用することが義務化される。そのため、県連主催大会においても、審判時にワッペンを着用して審判をお願いしたいと思っている。

次に、木下理事より西日本代議員会(11/29;アワズイン阪急)報告を以下のとおり行った。

- ① 平成26年度西日本大会において、一般（香川県）とシニア（高知県）を合わせて、目標950ペアを大きく上回る1,064ペアの参加をいただき、成功裏に大会を終えることができたことから、西日本連盟より感謝いただいた。
- ② 西日本大会当日、功労者表彰として「佐藤忠男」様を表彰いただいた。
- ③ 平成27年度は、シニアが福岡県、一般が熊本県で実施する。



- ④ 西日本小学生大会は、平成27年度から10月に開催することとなる。
- ⑤ 西日本連盟会長が、内田昌一様から安道光二様（あんどうみつじ：ワタキューセイモア社長）へ変更となった。

**(2) 平成26年度行事報告（木下理事）**

木下理事（総務部長）より、平成26年度実施大会について報告を行った。

**(3) 平成26年度会計報告（林副理事長）**

林副理事長（会計担当）より、平成26年度会計決算について報告を行った。

**(4) 会計監査報告（小泉理事）**

小泉理事（監査担当）より、平成26年度会計について監査を実施し、適正に処理されていることの報告を行った。

第2号議案から第4号議案を一括審議し、賛成多数で了承を得た。

◇議決事項◇

**(5) 平成27年度事業計画（案）（木下理事）**

木下理事（総務部長）より、別途配布の平成27年度事業計画（案）について提示。例年との大幅な変更箇所や主要な大会について説明を行い、賛成多数で承認を得た。

**(6) 国体シングルス導入に伴う選手選考方法について（松口理事）**

平成27年度の和歌山国体からシングルスが導入されることに伴い、配布資料の国体選手選考方法について説明を行なった。

[選考方法]

基本的には従来からの選考方法と変更せず、シングルス選考は、個別に選考会を実施しない。3月に行われるシングルス選手権は、全日本シングルスの予選会という位置づけであり、国体のシングルス選考には影響を与えるものではない。

あくまで、ダブルスで最終選考会まで行き、1位以外（残り3名）は県連推薦とする。なお、一次予選通過者が、二次予選、最終予選に参加できずに棄権する場合は、原則として補充はしないこととする。

上記説明を行い、特に意見が出されることはなく、承認を得た。

**(7) 平成27年度予算（案）（林副理事長）**

林副理事長（会計担当）より、平成27年度予算（案）を提示のうえ説明を行い、賛成多数で承認を得た。

**(8) 平成27年度大会実施要項（案）（木下理事）**

木下理事（総務部長）より、別途配布の平成27年度各大会実施要項について、共通参加条件の変更箇所や、番組編成方針および例年と変更になっている箇所など、以下の項目について説明を行なった。

[共通参加条件]

- ・ウォームアップウェアは、日本連盟のユニフォーム基準のオーバーウェアを指しており、大会の都度、着用の可否については競技委員長から周知する。
- ・大会使用球として、スリクソンを使用する大会を検討しており、各大会での競技上の注意事項の際、競技委員長から周知する。
- ・ゼッケンは必ず全試合共通条件として必要となる。平成26年度の試合では、当日、大会本部でゼッケンを購入する選手が相当数いたが、平成27年度は各クラブ周知の上、徹底をしていただきたい。

- ・審判時は、公認審判ワッペンを左胸につけて審判を行うこととする。平成27年度は、審判資格を持っていても、ワッペンを持っていないという方が多くおられるため、試合時に県連の方でワッペンを用意する。
- ・ねんりんピック予選および国民体育大会予選以外は、すべて会員登録を必須とする。昨年度までは、県レディース大会やミックスダブルス大会は誰でも参加できることとしていたが、会員と非会員の不公平感もあり、すべて会員登録を必須条件とした。
- ・大会参加申込について、昨年度まではFAX申込であったが、平成27年度から電子メール申込および大会参加申込システムでの申込とした。平成27年度からシステム申込へ移行する予定であったが、周知会が開催できなかったこともあり、移行期間を設けることとした。会員登録の期限が、規約で5月末となっていることから、大会申込システム対象の試合は6月以降の大会とする。

[番組編成方針]

- ・今まで明確に示したものがなかったため、この度、掲載させていただいた番組編成方針により、平成27年度以降は番組編成を実施する。

[各大会実施要項]

- ・各大会の実施要項について、例年から変更となっている項目（試合開始時間や新しい種別の追加、参加料の増額およびゼッケン記載事項等）を説明した。

(質問：暁星クラブ佐川氏)

- 問1. 電子メールの申込は、各クラブから申込をしたら、確認のメールを返信いただけるのか？それとも、開封確認などの設定を送信者がしなければならないのか？
- 問2. 大会参加申込システムでの申込は必須なのか？各クラブが対応できるよう、周知会もしくは十分な説明は行われたのか？

(回答：木下理事)

- 答1. 電子メール申込は、小・中・高校生については、すでに実施されており、特に返信確認や開封確認設定などをせずに、大きな問題が起きていないことから、申込書を電子メールで送付するのみとする。
- 答2. 大会申込システムは必須とする。事前に周知したとおり、システム周知会を実施予定であったが、日連のシステム障害により日程調整ができなかったことから、日連側でデモサイトを用意いただき、テスト申込を実施いただくこととしていた。本日、そのテスト申込実施結果について各クラブへ聞き取りすることとしている。サイト内には、マニュアルもあり、会員登録システムを使用している方であれば、ほとんど問題なく使用できるものと思っている。問い合わせなどあった場合は、総務木下まで遠慮なく連絡いただきたい。

上記説明を行い、賛成多数で承認を得た。

◇報告事項②◇

(8) 各部会報告 (①総務部会 ②競技部会 ③審判部会 ④強化部会 ⑤普及部会)

- ①総務部会：木下部長が以下の項目について報告を行った。
- ・県連主催大会における大会申込システム運用開始について、3月10日までにデモサイトでのテスト申込の実施を再依頼。平成27年度当初に、大会申込システム説明会を開催することを周知した。
- ②競技部会：須藤部長が以下の項目について報告を行った。
- ・来年度も多くの方に試合に参加していただけるよう依頼。マスターズは、平成26年度参加できなかったため、平成27年度は参加できるよう協力をお願いしたい。ミックスダブル



ルス大会では、スーパーベテランの部を皆様からの要望で新設したことから、多くの方の参加をお願いしたい。また、各クラブや学校の方は集約がたいへんだと思うが、各大会の申込締切を遵守いただけるようお願いしたい。

③**審判部会**：新開部長の代理で木下理事（総務部長）が以下の報告を行った。

- ・大会実施要項の共通参加条件にもあるように、審判ワッペンの着用について平成27年度大会からお願いしたい。また、平成27年度も審判講習会を例年どおり実施することとしているため、更新時期を逃すことがないように注意いただきたい。4月26日のジュニア審判講習会は、指導者および保護者等も対象にしているため、多くの方に参加いただきたい。

④**強化部会**：松口部長が以下の項目について報告を行った。

- ・平成26年度長崎国体では入賞がなかった。平成27年度は、成年男子が4県、少年男子が2県となり、女子は成年・少年ともに1県だけであるが、入賞できるよう強化策を実施していきたい。

⑤**普及部会**：尾崎部長が以下の報告を行った。

- ・平成27年度は、平成26年度にEXの申請が相次いだため、予算的な増額となっているが、その年度毎に変動が大きいため、平成27年度はどうなるか分からない。会員登録、審判等級および技術等級すべてがシステムで管理されており、インターネット社会避けては通れない。県連でもホームページを立ち上げているが、各クラブでも「ブログ」などを立ち上げていただき、県連ホームページとリンクさせることにより、情報の共有化を図っていききたい。また、大会結果は逐一、ホームページへ掲載しているが、中学生・高校生および各クラブ主催大会についても、情報提供いただければ掲載するので、ぜひ県連ホームページを有効に活用いただきたい。

#### (9) 平成27年度代議員の確認（木下理事）

議案書内に記載している各代議員について確認の結果、変更はなく承認いただいた。

(田万会長：議長解任挨拶)

上記にて、議案すべて終了した。スムーズな審議に感謝を述べ、議長解任の報告をした。

#### (10) その他

(質問：小西代議員)

- 問1. 審判時のワッペン着用を義務化するのであれば、中学生のジュニア審判資格の取得向上が必要である。未だに誤審が多いのが現状である。
- 問2. 中学生が高校生になった時に、ソフトテニス続ける高校生が激減する。いろいろな原因はあるものの、中学生でソフトテニスを始めた場合、一度も試合に出られなかったという原因もあるようだ。中学生の試合で地区大会においては、参加組数の制限撤廃を県連から中体連へ働きかけをお願いしたい。
- 問3. 試合結果が新聞などに掲載されないことがあり、掲載も遅い場合がある。新聞社や日連機関誌など報道関係に対する働きかけを、なお一層お願いしたい。

(回答：木下理事)

- 答1. 全中大会を契機に、中学生のジュニア審判資格の取得向上は図られたと聞いている。しかし、現状はまだまだであると思われるので、今後も、中体連へお願いしていく。また、審判時のワッペン着用は、県連主催大会における条件であり、中体連・高体連で実施を必須とするものではない。ただし、県連主催大会に参加する中学生・高校生には適用される。

答2. 要望事項であるため、その場で回答していない。今後、中体連へ願うする。

(参考) 一昨年も同じ質問があり、その際中体連が回答している。地区大会ではコート数や時間の制限もあり、参加組数の撤廃は困難である模様。その代替として、県下すべての中学生を対象とした「1年生大会(試合に出たことのない1年生対象)」を実施している。

答3. 要望事項であるため、その場で回答していない。

(参考) マスコミ対応は、現在、各大会終了後、試合結果を当日中に報道関係(四国新聞・朝日新聞・読売新聞・ソフトテニスマガジン社)へ連係している。また、県大会以上の全日本大会については、香川県体育協会を通じて、各報道機関・新聞社へ1年分のスケジュールを送付(全競技団体共通実施)している。県連で、情報を得るのが遅くなった場合でも、新聞社から問い合わせがあるなど、お互い共通認識はある。ただし、日連機関誌への情報提供はできていないため、今後、改善を図ることとしたい。

最後に、以下の項目について報告を行った。(木下理事)

- ・昨年、社会人ランキング制度について廃止したが、要望もあり、平成27年度から再度、ランキングを決定し、ホームページへ掲載する。なお、ランキング決定方法は、社会人選手権大会における順位をランキングとする。
- ・大学生の会員登録は、香川医科大学以外、すべて日本学生連盟への登録となっているため県連主催大会には参加することができない。県連主催大会に参加するには、学連登録から各クラブ登録へ変更するか、県連へ別途、会員登録をして会員登録料を支払う必要がある。
- ・平成28年3月に「ソフトテニスチャレンジ」というイベントが普通寺である。ソフトテニスの普及を目的としたイベントであり、日本のトッププレーヤーと触れ合える数少ない機会であるため、ぜひ多くの方にご参加いただきたい。
- ・平成26年度に設置した「指導基本規程違反救済申立処理委員会」について、平成26年度は申し出がなかった。今後も、何も無いことを祈りたいが、何かあった場合には事務局まで連絡をいただきたい。

以上

平成27年2月21日(土)に丸亀市生涯学習センターで開催された「平成26年度香川県ソフトテニス連盟定期総会」について、上記議事録のとおりであることを確認しました。

平成 27 年 3 月 13 日

議事録署名人 若水クラブ代議員

池田 行宣 

議事録署名人 フェニックスクラブ代議員

千秋 登 